PHONIC

Sonic Station 22/32

Sonic Station 22

株式会社 サウンドハウス
〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958
TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334
http://www.soundhouse.co.jp shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度はPHONIC社製のミキシング・コンソールをお買い上げ頂き有難うございます。商品の性能を最大限に発揮させ末永くお使い頂く為に、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読み下さい。尚、本書が保証書となりますので、お読みになった後は大切に保管してください。

ご使用の前に

1. この取扱説明書に従って操作して下さい。
2. 水の近くや雨のあたる場所で本製品を使用しないで下さい。
3. 本体のクリーニングを行う場合は乾いた布のみを使用し、液体クリーナー等は使用しないで下さい。尚、クリーニングの際は必ず本体の電源ケーブルをコンセントから抜いて下さい。
4. 冷却用ファンや通気口を物でふさがないようご注意下さい。
5. 本機を設置する際は、直射日光の当たる場所、又はラジエーターやストーブ等の熱を発生させる器具のそばを避け、なるべく通気性の良い場所でご使用下さい。
6. 感電などの事故を避ける為に、電源ケーブルを接続する際には正しい方法でコンセントに接続して下さい。
7. 電源コードは機材への挟み込み等、無理な力が加わらない様ご注意下さい。
8. 本体に付属したパーツ/アクセサリーのみを使用して下さい。
9. 内部には精密な電子部品が多数実装されています。移動及び輸送時には大きな衝撃が加わらないようにして下さい。
10. AC100V、50/60Hz のみでご使用下さい。
11. 故障や感電事故を防止すると共に、性能を維持する為にも、ケースを開けて内部に触れたりしないで下さい。修理が必要な時には、販売店、もしくは輸入代理店までお問合せ下さい。

基本機能

- 高音質、超低ノイズレベル
- ファンタム電源、インサート端子を搭載した 22/32 系統のマイク/ラインチャンネル
- マイクとライン入力のゲインを別々に設定可能なマイクプリアンプを 2 系統のステレオチャンネルに搭載
- メイン L と R へのルーティングボタンを搭載したサブグループ
- マルチトラッキング用のダイレクトアウト端子を搭載
- グループ/AUXとメイン/CTRL RMのスワップ機能によって本体をモニターミキサーとして使用可能
- 3 バンド EQ をモノラルチャンネルに搭載（ミッドスイープ）
- 各チャンネルに 75Hz （-18dB/oct）のローカットフィルターを搭載
- 各モノチャンネルに PAD を搭載
- 各入力チャンネルにピーク/ソロインジケーターとシグナルインジケーターを搭載
- 6 系統の AUX センド（プリ/ポスト切替スイッチを搭載）
- 16 種類のプログラムを内蔵したタップコントロール、パラメーター・コントロール付き 32/40 ビットエフェクトプロセッサーを装備
- 4 系統のステレオ AUX リターン
- モノラル出力端子に 60～160Hz の範囲で調節可能な LPF を搭載
- ゲインコントロールを搭載した RECORD 出力端子
- プリ/ポストスイッチ付きダイレクトアウト端子をモノラルチャンネルに搭載
- 7 つの 12 セグメントレベルメーターを搭載（メイン、モノ、グループ/AUX）
- 12Vミキサーライト用 BNC 端子を搭載
- トークバックマイクを内蔵

初期設定

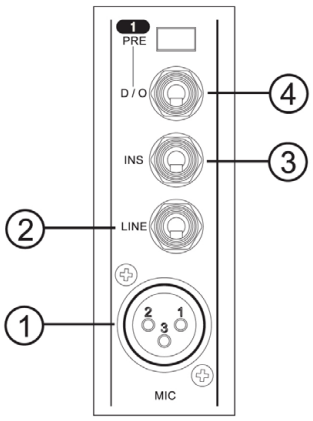
1. Sonic Station 22/32 の電源がオフになっていることを確認して下さい。
2. 全てのフェーダーとレベルコントロールを一番低いレベルに設定し、全てのチャンネルのスイッチがオフに切替わっていることを確認して下さい。これにより誤って信号が出力されることを防ぎます。
3. マイクや外部機器等をそれぞれ適切な入力端子に接続して下さい。
4. パワーアンプやパワードスピーカー等をそれぞれ適切な出力端子に接続して下さい。
5. 電源ケーブルを本体の電源入力端子に接続して下さい。
6. 電源ケーブルを電源コンセントに接続して下さい。この際、商用電源が AC100V、50/60Hz であることを必ず確認して下さい。
7. 本体の電源をオンにして下さい。

チャンネル設定

1. 選択されたチャンネルの入力レベル設定を正しく行う為に、まず各チャンネルのスイッチをオフに設定し、全てのフェーダーを 0（ユニティー）にセットして下さい。また全ての EQ コントロールはセンターに、AUX センドは一番低いレベルに設定されていることを確認して下さい。
2. 使用するチャンネルを選択し、そのチャンネルに信号を入力して下さい。この際、必ず実際にご使用になる信号レベルを入力して下さい。
3. チャンネルの SOLO ボタンを押し、CTRL RM レベルコントロールの下に搭載されている Pre/Post ボタンがオフになっていることを確認して下さい。これによりレベルメーターで入力信号を確認することが可能です。
4. チャンネルのゲインノブを調節し、入力レベルがレベルメーター上で 0dB を指すくらいに設定して下さい。
5. これにてセッティングは完了です。入力信号を止めて下さい。
6. 入力ゲインを設定したチャンネルを使用する為に、SOLO ボタンを押し、チャンネルのスイッチをオンにして下さい。またこの時ルーティングボタンを押して信号経路を設定して下さい。
8. 他のチャンネルも同様に１～6 を繰り返して下さい。

接続方法

リアパネル



1. XLR 入力端子

バランス信号を XLR 入力端子にコンデンサーマイク、ダイナミックマイク等を接続して使用することが可能です。

注:XLR 端子にアンバランス仕様のマイクを接続する時は、必ずファンタム電源をオフにして下さい。

2. ライン入力端子

バランス仕様のフォン入力端子にキーボード、ドラムマシン等を接続して使用することが可能です。

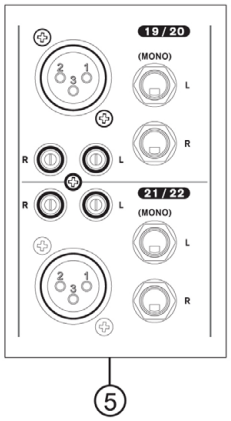
3. インサート端子

各モノチャンネルにインサート端子を搭載しています。インサート端子はチャンネルの信号経路のブレークポイントです。コンプレッサーや EQ 等の外部機器を接続する際にご使用下さい。

4. ダイレクトアウト/PRE ボタン

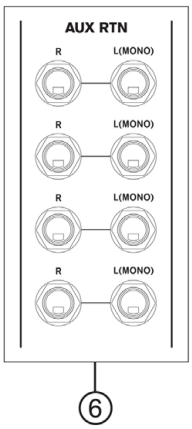
各モノチャンネルにダイレクトアウト端子を搭載しています。通常、各チャンネルに入力されたポストフェーダー/ポスト EQ 信号を出力します。また PRE ボタンがオンの時、ダイレクトアウト端子の出力はプリフェーダー/プリ EQ 信号に切替わりますダイレクトアウト端子は通常マルチトラックレコーダーに接続して使用します。

5. ステレオチャンネル入力端子



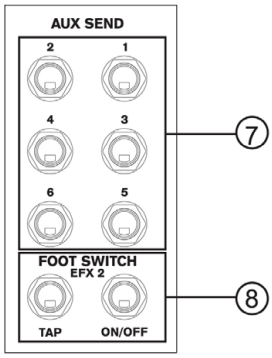
Sonic Station はモノチャンネルと入力端子が異なる 2 系統のステレオチャンネルを持ち、XLR マイク入力端子、及びアンバランス仕様のフォン端子を搭載しています。マイク入力の他、ドラムマシンやシンセサイザー等のラインレベル機器の入力に使用して下さい。また入力信号がモノの場合、奇数チャンネル端子(上側)のみを使用して下さい。入力回路の特性上、入力信号は複製され偶数チャンネルに反映されます。

6. AUX リターン入力端子



リバーブ等の外部シグナルプロセッサーからの信号を Sonic Station に入力する際に使用します。また入力端子が足りない場合等にライン入力端子として使用することも可能です。AUX リターン入力端子への入力信号レベルは、AUX リターンコントロールで調節可能です。モノラル信号を AUX リターンに入力する際はバランス仕様のフォン端子を AUX1、2、4 の L 側に接続して下さい。自動的に R 側にも反映するような内部配線になっています。

7. AUX センド出力端子

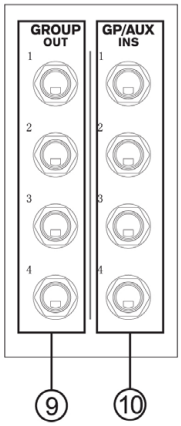


リバーブ等の外部シグナルプロセッサーやステージモニター等へ信号を出力する際にバランス仕様のフォン端子を使用します。AUX ミキシングバスで設定された最終ラインレベル信号を出力することが可能です。

8. フットスイッチ端子（ノンラッチタイプ）

内蔵エフェクトプロセッサーの設定をフットスイッチにより調節することができます。右側の端子によってエフェクトのオン/オフを切替え、左側の端子でタップディレイの設定を行います。尚、フットスイッチはアンラッチタイプに対応しています。

9. グループ出力端子



Group1～4 のフェーダーで設定された最終ラインレベル信号をバランス仕様のフォン端子から出力します。グループ出力端子は主にマルチトラックレコーダーやパワーアンプ等に接続して使用します。

10. グループ/AUX インサート端子

コンプレッサーや EQ 等の外部機器を接続する際にご使用下さい。

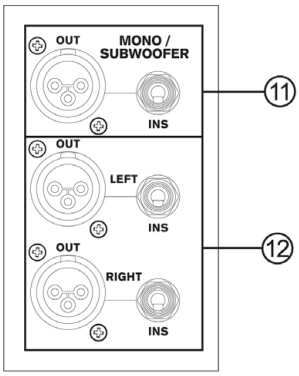
11. モノ/サブウーファー出力端子

XLR 端子とバランス仕様のフォン端子からメイン L/R 信号の L と R を混合したモノラル出力信号を出力することが可能です。モノラル/サブウーファー出力端子はモノシステムを使用する際、また重低音を得る為にサブウーファーをシステムに追加する際に有効です。またモノラル/サブウーファー出力端子はインサート端子を搭載しています。コンプレッサー等の外部シグナルプロセッサーを接続することが可能です。

搭載されたローパスフィルターによりモノラル出力信号の 60～160Hz 以上の成分を 12dB/オクターブの割合でカットすることが可能です。ローパスフィルターはスイッチによりオン/オフを切替えることが可能です。

12. メイン出力端子

メインミキシングバスのステレオ最終ラインレベルを出力します。XLR 端子にパワーアンプ、イコライザー、またはミキサー等の外部機器を接続し、メイン出力信号を送ることが可能です。

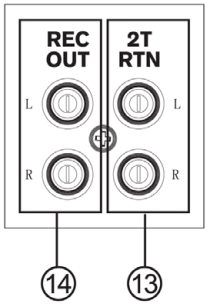


13. 2T RTN

テープレコーダー、CD、ノート型パソコン等の外部機器を 2TRTN ピン端子に接続することが可能です。

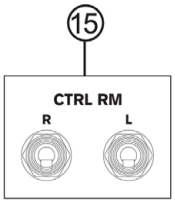
14. REC 出力端子（ゲインコントロール搭載）

MD、ノート型 PC、テープレコーダー等の外部録音機器にピン出力端子からメイン L/R 信号を出力します。REC 出力端子は出力ゲインコントロールを搭載している為、外部録音機器に出力する際に出力レベルを調節することが可能です。



15. CTRL RM 出力端子（コントロールルーム）

コントロールルームレベルコントロールによって設定された信号を 2 系統のフォン端子から出力されます。通常、コントロールルームのモニタースピーカーに接続して使用します。

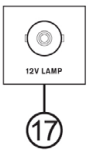


16. 電源入力端子

本体に付属している電源アダプターのケーブルを電源入力端子に接続してミキサー本体に電源を供給します。ご使用の前に必ず電源が AC100、50/60Hz であることを確認して下さい。

17. 12V ミキサーライト用端子

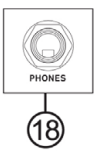
BNC 仕様の 12V ミキサーライトを接続することが可能です。手元が暗い中での作業時などに非常に便利な機能です。SonicStation22 には 1 系統、32 には 2 系統搭載されています。



メインミキシングパネル

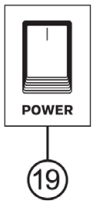
18. ヘッドフォン出力端子

ミックスをヘッドフォンでモニターするのに最適です。ヘッドフォン出力のレベルは本体マスターセクションの PHONES コントロールで設定可能です。



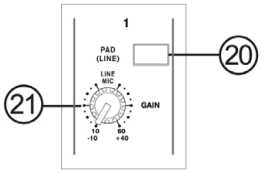
機能と設定

リアパネル



19. 電源スイッチ

本体の電源のオン/オフを切替えます。オンにする際には必ず全てのレベルコントロールが一番低い状態に設定されていることを確認して下さい。

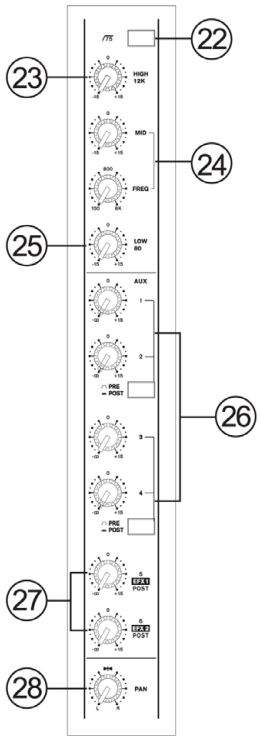


チャンネル機能

20. PAD ボタン

本体の全入力チャンネルに入力信号を 20dB 減衰させる PAD ボタンが搭載されています。これにより信号レベルが大きいソースもクリップすること無く入力することが可能になります。

注:PAD が押されていない時にライン入力端子に信号を入力することはできません。また、PAD がオンの時マイク入力信号は 20dB 減衰しますが、ライン入力端子にケーブルを接続するとマイク入力信号がカットされ、ライン信号が優先されます。



21. ゲインコントロール

チャンネルに入力した信号のゲインレベルを調節します。音質を損なうことなく入力信号を最大限増幅するには、ピークインジケーターが時折点灯する程度までゲインレベルを調節して下さい。

22. ローカットフィルター(75Hz)

ローカットフィルターのオン/オフを切替えます。全チャンネルに搭載されたローカットフィルターは 75Hz 以下の周波数を 18dB/オクターブの割合で減衰させます。ローパスフィルターは屋外やステージ上の不必要な低音を取り除きたい時や、マイクを落とすなどのアクシデントからシステムを守るのに大変便利な機能です。

23. HF(High Frequency)コントロール

12kHz 以上の周波数を±15dB の範囲で調整可能なシェルビング型のイコライザーです。高域を強調したい時や音に明るさを出したい時(またはその逆)などに有効なコントロールです。

24. MF(Middle Frequency)コントロール

100Hz～8kHz の周波数を±15dB の範囲で調整可能なピーク型のイコライザーです。ボーカルや楽器に張りを加えたい時や、また逆に歯擦音が耳につく時などに有効なコントロールです。
尚、ステレオチャンネルの MF コントロールの調節可能周波数は 2.5kHz に固定されています。

25. LF（Low Frequency）コントロール

80Hz 以下の周波数を±15dB の範囲で調整可能なシェルビング型のイコライザーです。ドラムやベースなどの低音を強調したい時や、低域の輪郭を出したいときなどに有効なコントロールです。

26. AUX コントロール

AUX1～4 のミキシングバスに送られる信号レベルをそれぞれ調節します。AUX 1/2 と AUX 3/4 は Pre/Post ボタンを搭載しており、ミキシングバスへのプリフェーダー信号、又はポストフェーダー信号を送ることが可能です。

27. EFX 1/2、AUX 5/6 コントロール

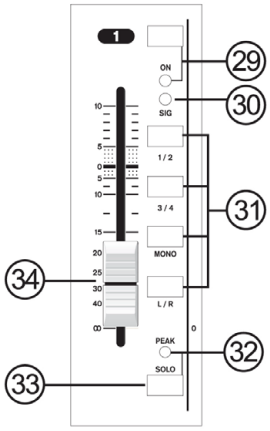
本体に内蔵された 2 系統のエフェクトにポストフェーダー信号を送ります。また同時に AUX 5/6 ミキシングバスに信号が送られ、AUX 5/6 センド出力端子から信号を出力することが可能です。

28. パン/バランスコントロール

チャンネルに入力された信号の定位、またはメインミックスに反映する左右のレベルを調節します。モノチャンネルに搭載された PAN ツマミを調節することにより、メインミックス上の左右のレベルを設定します。一方ステレオチャンネルは BAL ツマミを搭載しています。BAL ツマミを調節することにより左右の信号を減衰させます。

29. オンボタン/インジケーター

チャンネルのオン/オフを切替えます。チャンネルがオンの時、チャンネル信号をそれぞれメイン L/R バス、モノバス、グループ 1/2 バス、グループ 3/4 バス、AUX バス、EFX バスに送ることが可能になり、インジケーターが点灯します。



30. 入力信号インジケーター

入力チャンネル信号が－20dB に達すると LED インジケーターが点灯します。これにより信号の有無を確認できます。

31. 1/2、3/4、モノ、L/R ボタン

チャンネル信号のルーティングを設定します。各ボタンを押すとチャンネル信号が各ミックスバスに送られます。

32. ピークインジケーター

この LED インジケーターは信号がオーバーロードする 6dB 下に達すると点灯し始めます。このインジケーターが時々点灯する位にチャンネルゲインを設定して下さい。またこのボタンはソロインジケーターとしての機能も持っています。ソロボタンが押されるとインジケーターが点灯します。

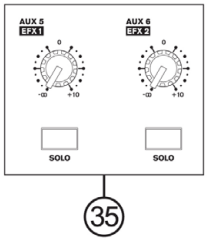
33. ソロボタン

ソロボタンを押すとチャンネル信号がコントロールルーム/ヘッドフォンミキシングバスに送られます。この際、プリ/ポストボタンの状態によりそれぞれプリ/ポスト信号が送られます。ソロボタンは各チャンネルの入力ゲインレベルを設定する時などに使用する非常に便利な機能です。

34. チャンネルレベルコントローラー(フェーダー)

チャンネルからメインミキシングバスに送る信号レベルを調節します。

デジタルエフェクトエンジン



35. AUX 5/6(EFX 1/2)コントロール/ソロボタン

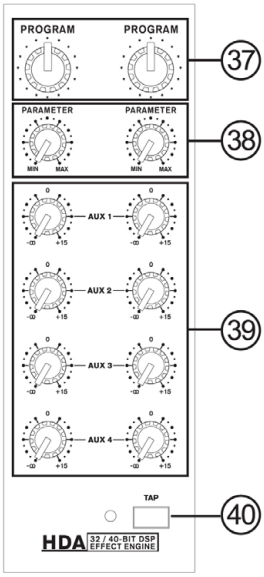
2 つのロータリーコントロールによって AUX 5/6、またデジタルエフェクター1/2 に送る最終出力信号レベルを調節します。また搭載されたソロボタンを押すと、AUX 5/6(EFX 1/2)信号がコントロールルーム/ヘッドフォンミキシングバスに送られます。これによってモニターすることが可能になります。

36. デジタルエフェクトディスプレイ

本体内蔵エフェクト 1/2 のタイトルを表示します。エフェクトを選択するとエフェクトのタイトル横に搭載された LED が点灯し、自動的にエフェクトが変更されます。エフェクトのプログラムについては本書巻末のデジタルエフェクト・テーブルをご参照下さい。

37. プログラムコントロール

デジタルエフェクトディスプレイ上のエフェクトをスクロールし、選択します。



38. パラメーターコントロール

選択されているデジタルエフェクトのパラメーターを調節します。エフェクトのプログラムについては巻末のデジタルエフェクト・テーブルをご参照下さい。

ノート: デジタルエフェクトエンジンはメモリー機能を搭載しており、プログラムを変更した際にも設定したパラメーターはメモリーに残ります。

39. AUX 1～4 コントロール

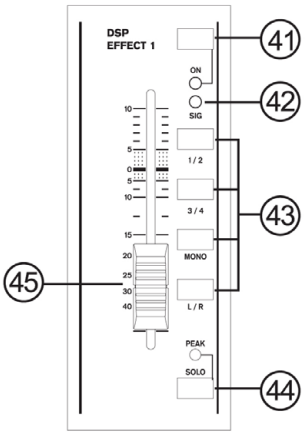
EFX 1/2 の信号を 4 つの AUX コントロールを使って AUX ミキシングバスに送ることが可能です。ステージモニターにエフェクト信号を送る時などに使用します。

40. タップディレイボタン/インジケーター

EFX 2 のタップディレイが選択されている時、このボタンによりディレイタイムを設定できます。ディレイタイムを設定するにはタップディレイボタンを数回押して下さい。ボタンを押した時の間隔をミキサーが自動的に測定し、次回またボタンが押されるまでその間隔を記憶します（電源を切っても内部メモリーに残ります）。またタップディレイが選択されている時に LED が設定された間隔で点滅します。

41. エフェクトオンボタン/インジケーター

エフェクトパネルのオン/オフを切替えます。エフェクトプロセッサーがオンの時 LED インジケーターが点灯します。



42. 入力信号インジケーター

入力信号が－20dB に達すると LED インジケーターが点灯します。これにより信号の有無を確認できます。

43. 1/2、3/4、モノ、L/R ボタン

エフェクトチャンネル信号のルーティングを設定します。各ボタンを押すとエフェクト信号が各ミックスバスに送られます。

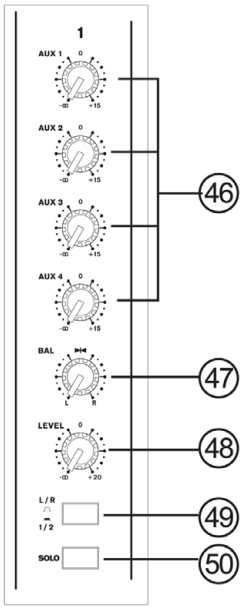
44. ソロボタン/ピークインジケーター

ソロボタンがオンの時に EFX 1/2 チャンネルの信号がコントロールルーム/ヘッドフォンミキシングバスに送られます。その際ソロボタンの上に位置するピークインジケーターが点灯します。またこのインジケーターは内蔵エフェクターのピークインジケーターとしても機能し、エフェクターがオーバーロードすると点灯します。ピークインジケーターが点灯している場合は、AUX 5/6 コントローラーを使ってインジケーターが点灯しない用にレベルの調整を行って下さい。

45. レベルコントロール（フェーダー）

EFX 1/2 チャンネルから各ミキシングバスに送る信号レベルを調節します。

マスターセクション（ステレオ AUX リターン）



46. AUX 1～4 コントロール

AUXリターン入力端子に入力された信号のレベル調節を行います。AUXリターンコントロールから送られたプリフェーダー信号をそれぞれの AUXミキシングバスに送ることが可能です。

47. バランスコントロール

チャンネルに入力された信号の定位、またはメインミックスに反映する左右のレベルを調節します。バランスコントロールを左に回すと AUX リターン信号の R 側が減衰し、右に回すとL 側が減衰します。

48. レベルコントロール

AUXリターン 1～4ミキシングバスから選択された各ミキシングバスに送る信号レベルを調節します。

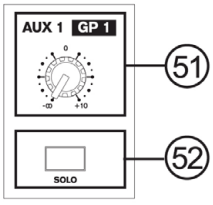
49. L/R-1/2、L/R-3/4 ボタン

L/R-1/2、L/R-3/4 ボタンがオンの時に AUX リターン信号がグループ 1/2 又はグループ 3/4 ミキシングバスに送られます。これらのボタンは AUX リターン信号の行き先を選択する為に使用します。尚、L/R-1/2、L/R-3/4 ボタンがオフの時、AUX リターン信号はメイン L/R ミキシングバスに送られます。

50. ソロボタン

ソロボタンがオンの時に AUX リターンチャンネルの信号がコントロールルーム/ヘッドフォンミキシングバスに送られます。

AUX/グループ 1～4 コントロール



51. AUX センド 1～4 マスターコントロール

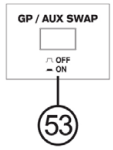
各チャンネルで設定された AUX 1～4 信号の最終レベルを調節します。また GP/AUX スワップボタンをオンにするとこのコントロールはグループ 1～4 の最終信号レベルを調節することが可能になります。

52. ソロボタン

ソロボタンがオンの時に AUX センドの信号がコントロールルーム/ヘッドフォンミキシングバスに送られます。

53. GP/AUX スワップ

GP/AUX スワップボタンは AUX とグループのレベルコントロール機能を取り替えます。オンの時には AUX レベルコントロールはグループコントロールとして機能し、反対にグループフェーダーは AUX コントロールとして機能します。

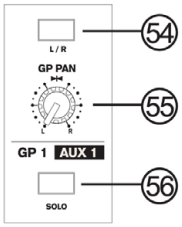


54. メイン L/R ボタン

グループチャンネル信号をメイン L/R ミキシングバスに送ります。

55. グループパン

L/R ボタンと共に使用し、メイン L/R ミックスの L または R チャンネルに送るグループ信号の量を調節します。

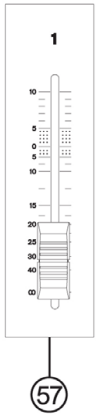


56. ソロボタン

ソロボタンがオンの時にグループ信号がコントロールルーム/ヘッドフォンミキシングバスに送られます。

57. グループ 1～4 マスターコントロール

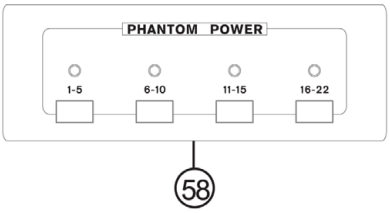
グループ 1～4 の最終出力信号を調節します。通常、グループ出力はエフェクトプロセッサー等の外部機器やマルチトラックレコーダーに接続して使用します。また GP/AUX スワップボタンをオンに切替えると、グループ 1～4 マスターコントロールは AUX 1～4 マスターコントロールに変わります。



マスターコントロール

58. ファンタム電源

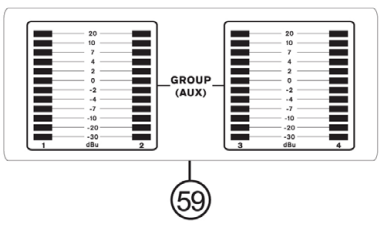
スイッチがオンに設定されている際にファンタム電源がそれぞれのマイク入力に供給されます。ファンタム電源スイッチをオンに切替えるとレベルメーター上部に搭載された LED が点灯します。



注:ファンタム電源はバランス仕様のマイクのみに使用可能です。破損の恐れがありますので、ファンタム電源がオンの時にアンバランス仕様のマイク、またはその他楽器類をマイク入力端子に接続しないで下さい。

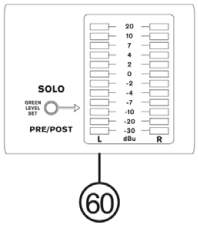
59. レベルメーター

12 セグメント仕様のレベルメーターによってグループ 1～4（AUX）、モノ、メイン L/R 信号のレベルを正確に表示します。



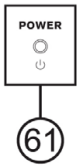
レベルメーター上の 0dB は出力レベルが+4dBu（バランス）であることを示し、またピークインジケーターは信号がクリップする 1.5dB 手前で点灯します。入力信号の音質を保つ為に全てのレベルコントロールをレベルメーターが 0dB 表示すように調節して下さい。
各入力チャンネル、又はマスター、グループ/AUX セクションのソロボタンがオンの時にレベルメーターはソロ信号を表示します。

60. ソロインジケーター



本体上何れかのソロボタンを押すとメイン L/R レベルメーターの横に位置するソロインジケーターが点灯します。この際、メイン L/R レベルメーターにはソロ信号が表示されます。ソロインジケーターが緑色に点灯している場合はソロ信号がプリフェーダー信号であることを示し、赤色に点灯している時はポストフェーダー信号であることを示します。

61. 電源インジケーター

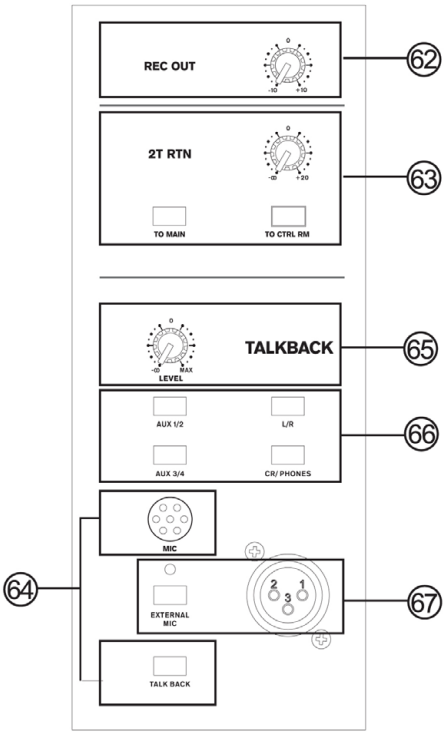


本体の電源がオンの時に点灯します。

62. REC 出力コントロール

REC 出力端子に送られるメイン L/R プリフェーダー信号のレベルを調節します。

63. 2T リターンコントロール



2T リターン入力端子に入力された信号レベルを調節することが可能です。搭載された“To Main”ボタンと“To CTRL RM”ボタンをオンにすると 2T リターン信号はそれぞれメイン L/R ミキシングバス、またはコントロールルームミキシングバスに送られます。尚、“To Main”ボタンがオンの時にはフィードバックを防止する為にメイン L/R 信号は REC 出力に送られません。

64. トークバックマイク/ボタン

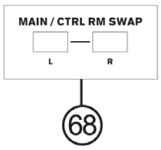
トークバックボタンを押しながら本体に搭載されたトークバックマイクに話すとトークバックルーティングボタンで選択された出力に信号を送ることが可能です。外部トークバックマイクボタンを押すと内蔵トークバックマイク信号が遮断され、外部マイク信号が優先されます。

65. トークバックコントロール
トークバックマイク信号のレベルを調節します。

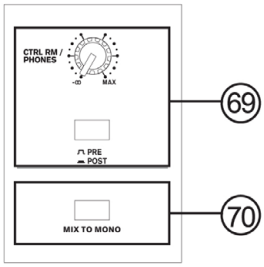
66. トークバックルーティングボタン
トークバックマイク信号を送るミキシングバスを選択します。

67. 外部トークバックマイクボタン/XLR 入力端子
外部マイクをこの XLR 入力端子に接続して、本体のトークバックマイクとして使用することが可能です。外部トークバックマイクを使用する際は外部トークバックマイクボタンを押しながらマイクに話して下さい。

68. メイン/コントロールルームスワップボタン
メイン/コントロールルームスワップボタンはメイン L/R コントロールをコントロールルーム/ヘッドフォンコントロールとスワップする際に使用します。これは本体をモニターミキサーとして使用する際に便利な機能です。尚、この機能はボリュームコントロールのみをスワップします。



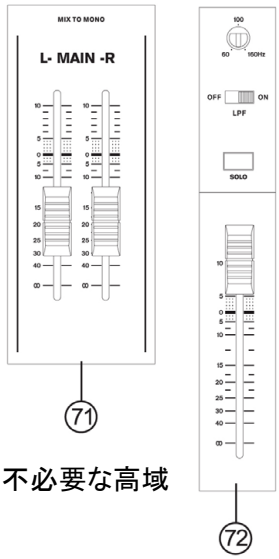
69. コントロールルーム/ヘッドフォンコントロール、Pre/Post ボタン
コントロールルーム/ヘッドフォン出力のレベルを調節します。またコントロールルーム/ヘッドフォンコントロールの下に位置する Pre/Post ボタンを使って、コントロールルーム/ヘッドフォンミキシングバスに送られる信号をプリフェーダー/ポストフェーダーから選択することが可能です。



70. ミックス to モノボタン
メインミックス信号をモノミキシングバスに送ります。

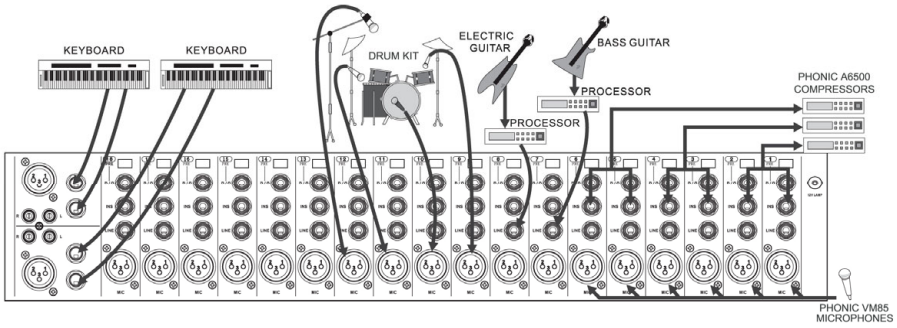
71. メイン L/R フェーダー
メイン L/R 信号の最終レベルを調節します。

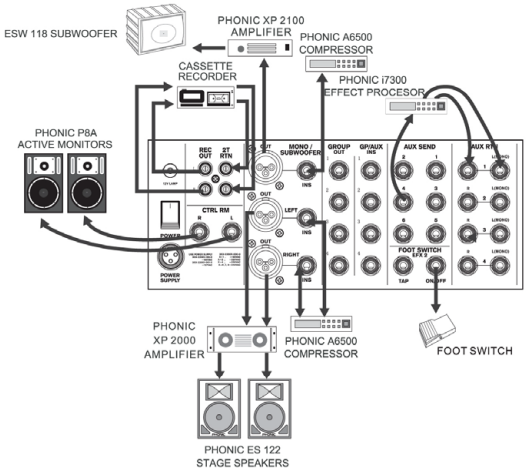
72. モノチャンネル
モノミキシングバスに送る最終信号レベルを調節します。搭載されたソロボタンによってソロミキシングバスにモノ信号を送ることも可能です。さらに可変カットオフ周波数ツマミ(60～160Hz)とローパスフィルターオン/オフスイッチを搭載し、サブウーファー等にモノ信号を出力する際の不必要な高域成分を取り除くことが可能です。



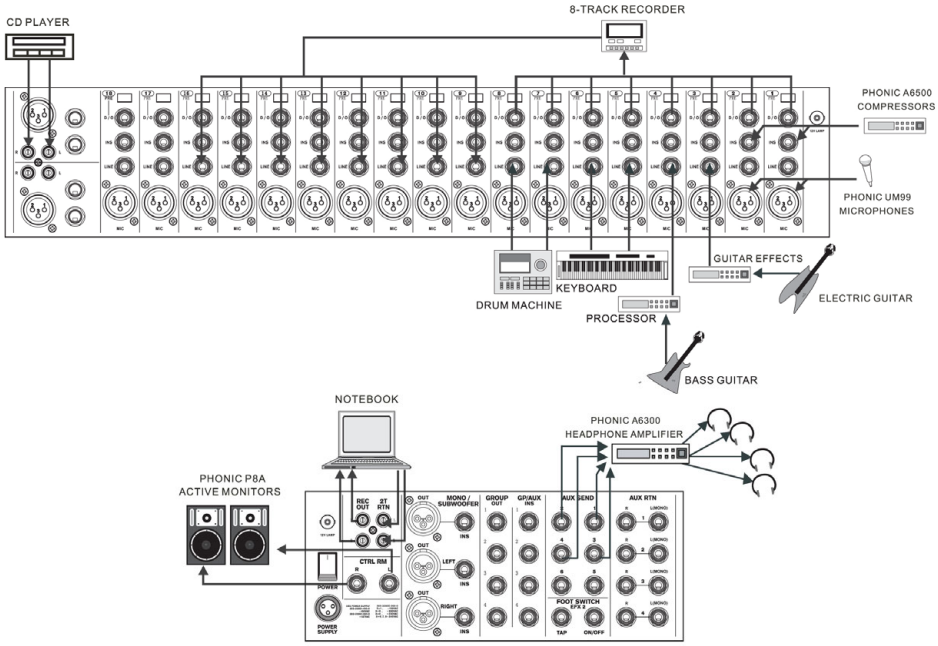
接続例

Live Setup





8-Track Tracking



デジタルエフェクトプログラム一覧

	Program	Parameter	Variable Range
1	Hall	Reverb Time	0.3 – 10 sec
2	Room	Reverb Time	0.3 – 3.2 sec
3	Plate	Reverb Time	0.3 – 10 sec
4	Cathedral	Reverb Time	0.3 – 10 sec
5	Arena	Reverb Time	0.3 – 10 sec
6	Spring	Reverb Time	0.3 – 10 sec
7	Opera	Reverb Time	0.3 – 10 sec
8	Rev Vocal	Reverb Time	0.3 – 10 sec
9	Delay 1 (One Repeat)	Delay Time	0 – 800 ms

Effect 1

	Program	Parameter	Variable Range
10	Delay 2 (Two Repeats)	Delay Time	0 – 800 ms
11	Delay 3 (Three Repeats)	Delay Time	0 – 800 ms
12	Delay 4 (Four Repeats)	Delay Time	0 – 800 ms
13	Chorus + Delay	Delay Time & Feedback	Delay Time: 0-800ms; Feedback: 30-66
14	Flange + Delay	Delay Time & Feedback	Delay Time: 0-800ms; Feedback: 30-66
15	Tremolo	Speed	0.1 – 10 Hz
16	Panning Delay	Speed	0.1 – 10 Hz

Effect 2

	Program	Parameter	Variable Range
10	Echo	Delay Time	0 – 800 ms
11	Multi-Pong	Delay Time	0 – 800 ms
12	Karaoke	Delay Time & Feedback	Delay Time: 160-260 ms ; Feedback: 45-65
13	Chorus + Rev	DEPTH	0 – 100
14	Flange + Rev	Modulation Frequency	0.05 – 4.00 Hz
15	Phaser + Rev	Modulation Frequency	0.05 – 4.00 Hz
16	Tap Delay	Feedback Gain	0 – 99%

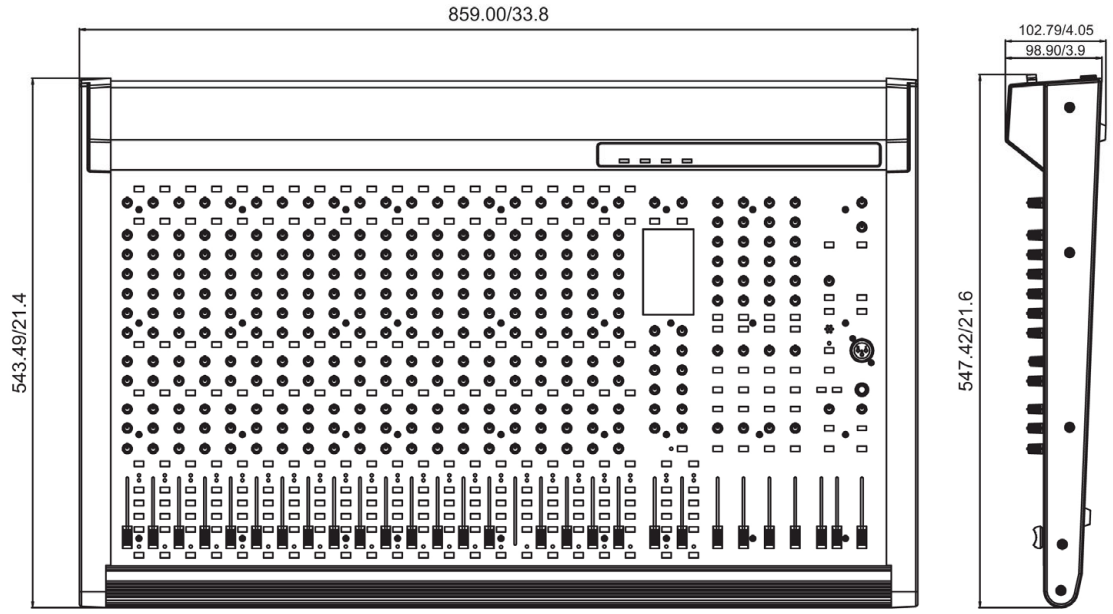
製品仕様

	SONIC STATION 22	SONIC STATION 32
Inputs		
Balanced Mic / Mono Line Channel	18	28
Balanced Mic/ Stereo Line Channel	2	2
Mic Preamps	20	30
Aux Return	4 stereo	4 stereo
2T Input	Stereo RCA	Stereo RCA
Outputs		
Main L/R Stereo	2 x XLR	2 x XLR
Main out with inserts	Yes	Yes
Main Mono	1 x XLR	1 x XLR
Main Mono out with inserts	Yes	Yes
Direct out	18, including pre-ch EQ switch	28, including pre-ch EQ switch
Rec Out with Trim Control	Stereo RCA	Stereo RCA
CTRL RM L/R	2 x 1/4” TS	2 x 1/4” TS
Phones	1	1
Channel Strips	20	30
Pad (line in) switches	20	30
Aux Sends	6	6
Pan/Balance Control	Yes	Yes
Channel routing switches	Group 1/2, 3/4, Main Mono, Main L/R	Group 1/2, 3/4, Main Mono, Main L/R
Indicators	On, Signal, Peak/Solo	On, Signal, Peak/Solo
Volume Controls	60mm fader	60mm fader
Master Section		
Aux Send Masters	6	6
Master Aux Send Solo	6	6
Stereo Aux Returns	4, each with aux 1-4 volume control	4, each with aux 1-4 volume control
Aux Return Assign to Subgroup	4	4
Effects Return to Monitor	4	4
Global PRE/POST Solo Mode	Yes	Yes
Group 1-4/Aux 1-4 Swap buttons	Yes	Yes
Main fader / CTRL RM volume control swap buttons	Yes	Yes
Talkback Mic	Built-in, can be routed to Aux 1/2, 3/4, Main L/R & CTRL RM, or use external mic(with +48V phantom power)	Built-in, can be routed to Aux 1/2, 3/4, Main L/R & CTRL RM, or use external mic(with +48V phantom power)
Faders	4 subgroups, Main mono, Main L/R	4 subgroups, Main mono, Main L/R
Metering		
Number of Channels	7	7
Segments	12	12
Phantom Power Supply	+48V DC	+48V DC
Switches	4	6
Effect Processor 1 (32/40-bit DSP engine)	16 effects with one main parameter control	16 effects with one main parameter control

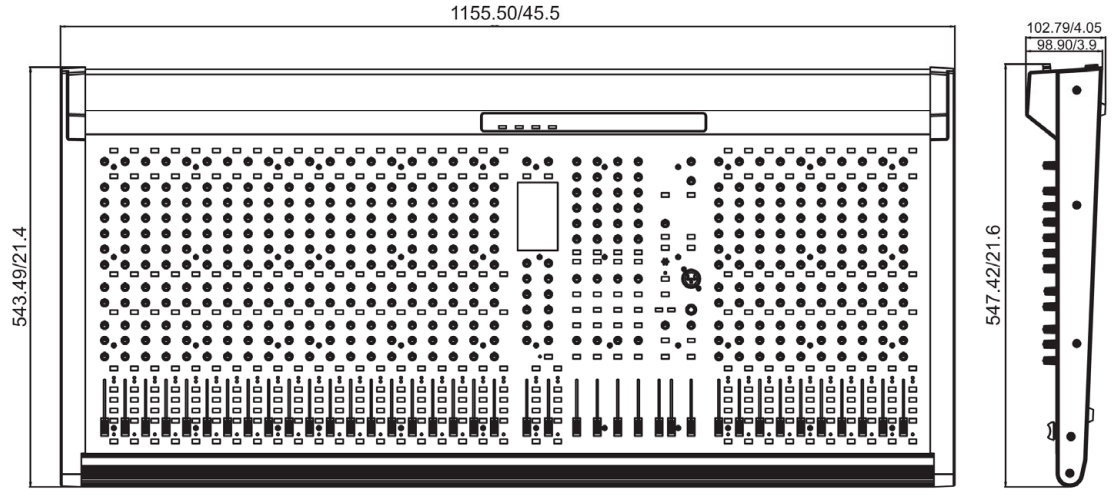
Effect Processor 2 (32/40-bit DSP engine)	16 effects with one main parameter control, tap delay control, foot switch (effect on/off, tap)	16 effects with one main parameter control, tap delay control, foot switch (effect on/off, tap)
Frequency Response (Mic input to any output)		
20Hz ~ 60KHz	+0/-1 dB	+0/-1 dB
20Hz ~ 100KHz	+0/-3 dB	+0/-3 dB
Crosstalk (1KHz @ 0dBu, 20Hz to 20KHz bandwidth, channel in to main L/R outputs)		
Channel fader down, other channels at unity	<-90 dB	<-90 dB
Noise (20Hz~20KHz; measured at main output, Channels 1-4 unit gain; EQ flat; all channels on main mix; channels 1/3 as far left as possible, channels 2/4 as far right as possible. Reference=+6dBu)		
Master @ unity, channel fader down	-86.5 dBu	-86.5 dBu
Master @ unity, channel fader @ unity	-84 dBu	-84 dBu
S/N ratio, ref to +4	>90 dB	>90 dB
Microphone Preamp E.I.N. (150 ohms terminated, max gain)	<-129.5 dBm	<-129.5 dBm
THD (Any output, 1KHz @ +14dBu, 20Hz to 20KHz, channel inputs)	<0.005%	<0.005%
CMRR (1 KHz @ -60dBu, Gain at maximum)	80dB	80dB
Maximum Level		
Mic Preamp Input	+10dBu	+10dBu
All Other Input	+22dBu	+22dBu
Unbalanced Output	+22dBu	+22dBu
Balanced Output	+28dBu	+28dBu
Impedance		
Mic Preamp Input	2 K ohms	2 K ohms
All Other Input (except insert)	10 K ohms	10 K ohms
RCA 2T Output	1.1 K ohms	1.1 K ohms
Outputs	200 ohms	200 ohms
Equalization	3-band, +/-15dB	3-band, +/-15dB
Low EQ	80Hz	80Hz
Mid EQ (mono channels)	100-8k Hz, sweepable	100-8k Hz, sweepable
Mid EQ (stereo channels)	2.5k Hz	2.5k Hz
Hi EQ	12 kHz	12 kHz
Low cut filter	75 Hz (-18 dB/oct)	75 Hz (-18 dB/oct)
Power consumption	65 watts	70 watts
Power Requirement (depends on region)	100~120V AC, 220~240V AC, 50/60Hz	100~120V AC, 220~240V AC, 50/60Hz
Net Weight (without adapter)	15.5 kg (34.14 lbs)	18 kg (39.65 lbs)
Dimensions (WxHxD)	859x102.79x547.42 mm (33.8”x4.05”x21.6”)	1155.5x102.79x547.42 mm (45.5”x4.05”x21.6”)

寸法

Sonic Station 22 Dimensions

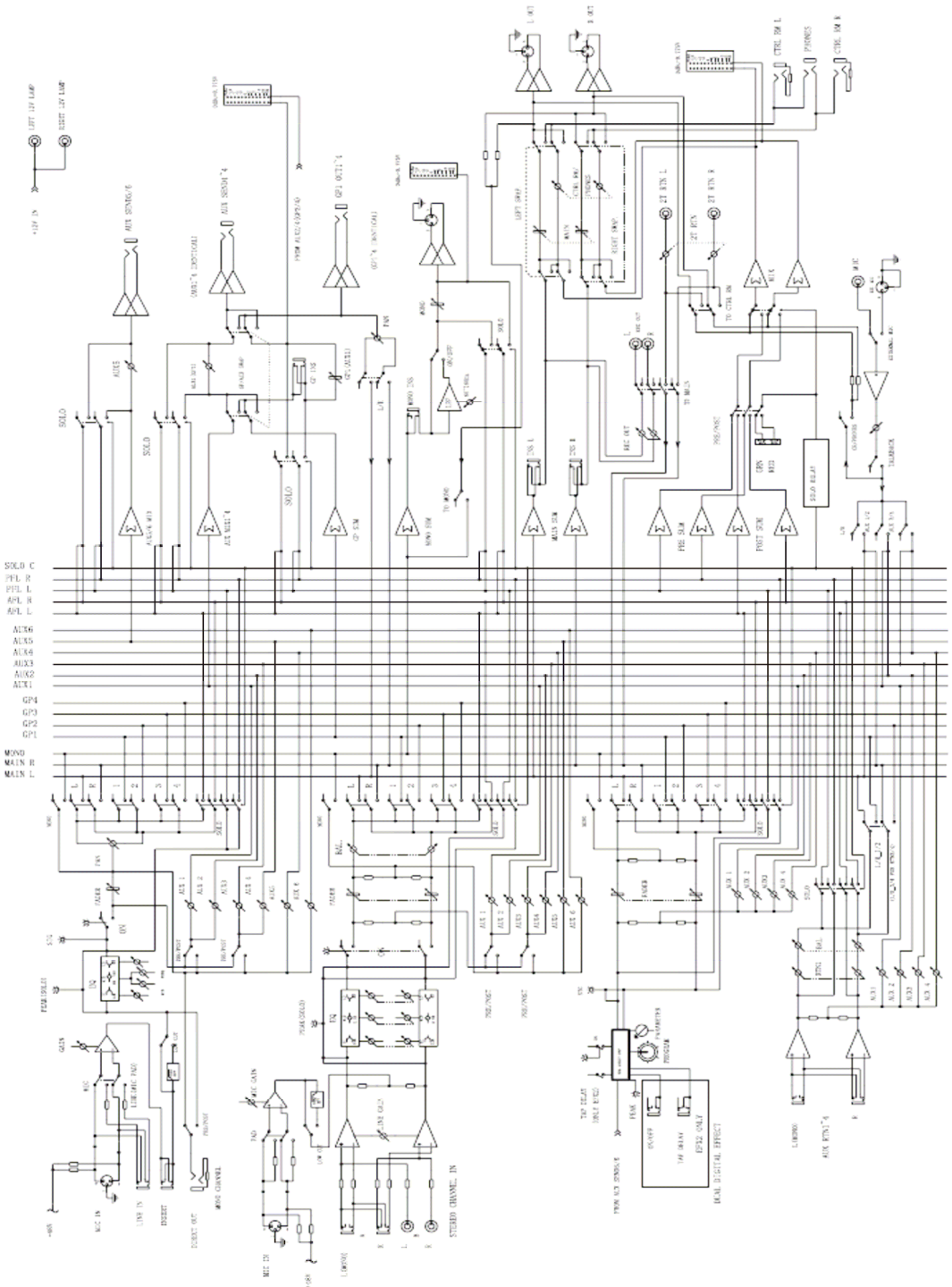


Sonic Station 32 Dimensions



measurements are shown in mm / inches

ブロックダイアグラム



保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より１年間有効

■保証規定

保証期間内（ご購入より1年間）において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書に基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。
但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱い方法が不適当（例：過大入力によるウーハー焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことにより故障及び損傷がおきたとみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト各種パーツ等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. お客様自身で行った調整や修理作業が原因で生じた破損事故や故障
11. その他、メーカーの判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り着払いを受け付けます（下記RA番号が必要です）。沖縄などの離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サポート担当より通知されるRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状シールに明記してください。 RA番号が無いものについては、佐川急便以外の運送会社での着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる損害（周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害）に関してサウンドハウスは一切の責任を負いません。

PHONIC